

英米語学科 モデルカリキュラム

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1時限 9:00-10:30	■ 米国研究入門 I			● English for Academic Purposes(a)		
2時限 10:40-12:10	● Freshman English(a)	■ 英語学概論	● Foundational Literacies: Reading & Writing(a)	● Freshman English(a)	● Freshman English(a)	
3時限 13:10-14:40	▲ 韓国語 I (a)	● English for Academic Purposes(a)	社会学 I	▲ 韓国語 I (a)	■ 英語学概論	
4時限 14:50-16:20		● Freshman English(a)		● Foundational Literacies: Reading & Writing(a)	◆ 基礎演習 I	
5時限 16:30-18:00						

必修・選択必修 ●=英語科目 ▲=選択外国語科目 ■=研究科目 ◆=基盤教育科目

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1時限 9:00-10:30						
2時限 10:40-12:10	● 英語総合講座Ⅲ-1	● 英語総合講座Ⅲ-2			■ 英語習得法	
3時限 13:10-14:40		韓国語Ⅲ(a)	■ 日米比較文化論 I	● 英語総合講座Ⅲ-1	● 英語専門講読	
4時限 14:50-16:20	■ Survey of American Literature I	○ 研究演習	■ 英語習得法	■ History of the United States I	● 英語総合講座Ⅲ-2	
5時限 16:30-18:00						

必修・選択必修 ●=英語科目 ■=研究科目 ○=演習科目

▶1年次（前期）

英米語学科の語学教育の特徴は、まず英語科目の必修科目の多さにあります。例えば1年次には週6回の「英語総合講座Ⅰ（Freshman English、Foundational Literacies）」に加え、ホームルームの役割を果たす「English for Academic Purposes」があり、90分の英語科目（必修）の授業が週8回、2年次にも「英語総合講座Ⅱ」が週6回必修となります。「英語総合講座Ⅰ」は外国人教員が担当^{*}し、授業はすべて英語で展開されます。グループワークやディスカッション、プレゼンテーションといったさまざまな言語活動を取り入れながら、「聞く、話す、読む、書く」の4技能を総合的に養います。なお、選択外国語科目が必修となっており、卒業するまでに1言語（週2回）を1年間学ぶことが卒業要件となります。

※ 一部のクラスは、部分的に日本人教員が担当

▶3年次（前期）

3・4年次の英語必修科目である「英語総合講座Ⅲ」は、英語圏の歴史、社会、文化などさまざまなテーマを、英語“で”学び、高度な英語運用能力と教養の両方を身につける授業です。

「英語総合講座Ⅲ」と「英語専門講読」を履修するためには、2年次末までに一定の英語運用能力基準（TOEFL[®]テストのC基準…ITP: 480、iBT: 54）が必要です。さらに、英語必修科目は研究科目と有機的に連動します。研究科目のなかに、英語で行われる研究科目を設けています。英語圏の学部を想定した授業ですので、専門分野を英語で研究する経験を得ることができます。